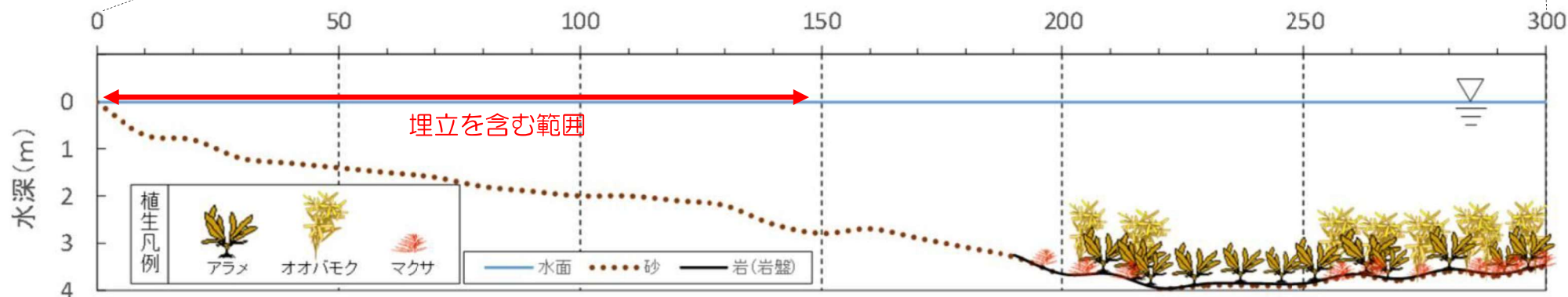
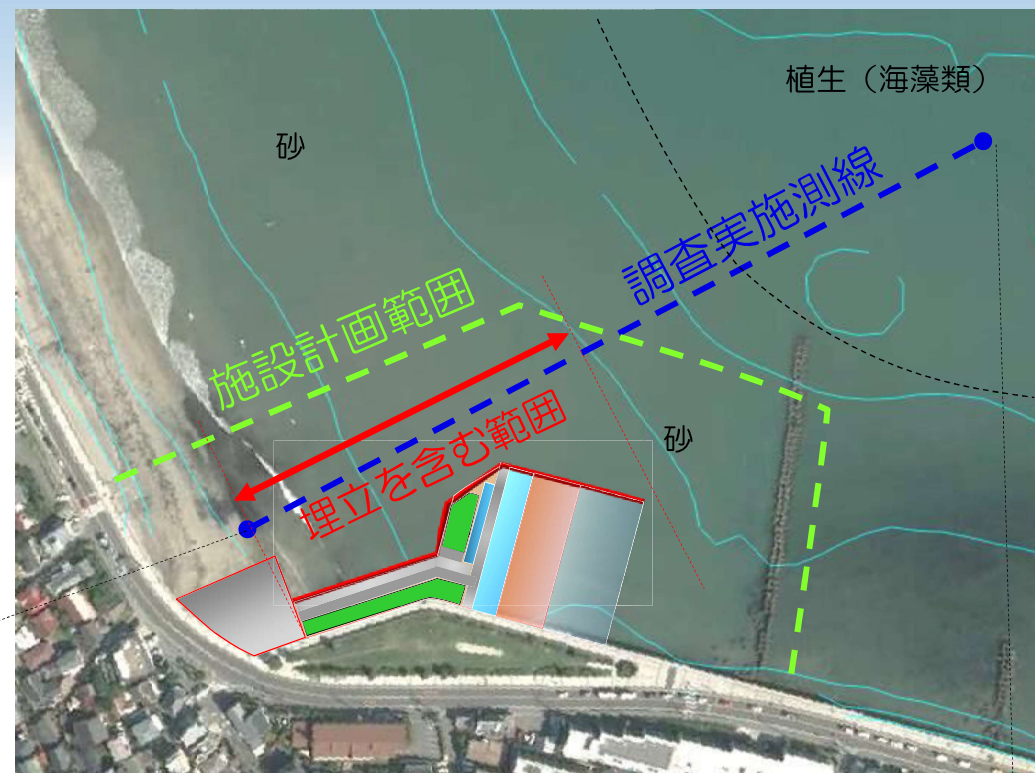


周辺環境等への影響（生物）

生物環境への影響

- ◆ 施設の埋立を含む範囲の底質は砂であり、海藻類はなく、ヤドカリ類などの大型底生生物が見られますが、希少種等がないことを確認しています。



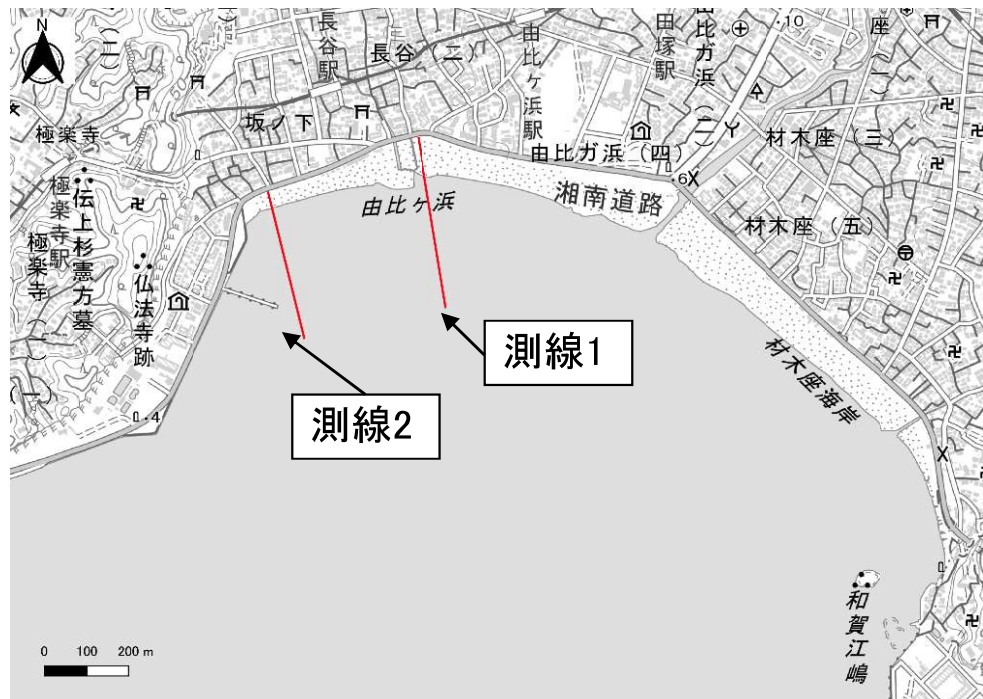
平成27年11月調査

※施設計画範囲：埋立範囲＋管理上必要な約50mを含めた範囲を設定

周辺環境等への影響（生物）

生物環境への影響 （調査の概要）

調査位置



調査時期・方法

◆陸域生物調査

夏季：平成27年9月4日～5日

秋季：平成27年11月20日～21日

※測線の陸上部において、目視観測あるいは
トラップを用いて生息状況を記録

◆海域生物調査

夏季：平成27年9月14日～15日

秋季：平成27年11月16日、24日

※測線の海域部において、潜水目視観測、写真撮影、
水中ビデオ撮影を行い、海底面の状況、海域生物の
生息状況を記録。また、測線間の破砕帯において
小型地曳網を用いて稚魚を採集

周辺環境等への影響（生物）

生物環境への影響 （陸域生物調査結果）

植物出現種

No.	科	種和名	学名	夏		秋		環境省 レッドデー タラシク	神奈川県 レッドデー タラシク
				L1	L2	L1	L2		
1	アカバナ科	コマツヨイゲサ	<i>Oenothera lacinata</i>	○		○			
2	セリ科	ハマゼリ	<i>Cnidium japonicum</i>			○			
3	タデ科	スイハ	<i>Rumex acetosa</i>			○			
4	オシロイバナ科	オシロイバナ	<i>Mirabilis jalapa</i>			○			
5	ハマミズナ科	ツルナ	<i>Tetragonia tetragonoides</i>			○	○		
6	スベリヒユ科	ヒメマツバボタン	<i>Portulaca pilosa</i>	○					
7	アブラナ科	ハマダイコン	<i>Raphanus sativus var. raphanistroides</i>	○		○			
8	トウダイグサ科	コニシキソウ	<i>Euphorbia supina</i>	○					
9	ウリ科	スイカ	<i>Citrullus vulgaris</i>			○			
10	ヒルガオ科	ハマヒルガオ	<i>Calystegia soldanella</i>	○	○				
11	クマツヅラ科	イワダレソウ	<i>Lippia nodiflora</i>	○					
12	キク科	ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>	○		○			
13		アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i>	○					
14		ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>			○			
15	イネ科	メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>	○		○			
16		オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>	○					
-		イネ科sp.	Gramineae			○			
17	カヤツリグサ科	コウボウシバ	<i>Carex pumila</i>	○		○			
種数				11	1	13	1	0	0

鳥類出現種

No.	目	科	種和名	学名	夏		秋		環境省 レッドデー タラシク	神奈川県 レッドデー タラシク
					L1	L2	L2	L2		
1	ペリカン目	ウ科	カウウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>				○		
2	コウノトリ目	サギ科	コサギ	<i>Gareta gazetta</i>			○			
3	タカ目	タカ科	トビ	<i>Milvus migrans</i>		○	○	○		
4	チドリ目	カモ科	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>		○		○		
5			セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>				○		
6	ハト目	ハト科	ドバト	<i>Columba livia var. domestica</i>	○		○			
7	スズメ目	セキレイ科	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>		○	○	○		
8		ハタオリドリ科	スズメ	<i>Passer montanus</i>	○		○	○		
9		カラス科	ハシボガラス	<i>Corvus corone</i>			○			
10			ハシボトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>			○			
種数					3	3	6	8	0	0

昆虫類・クモ類出現種

No.	綱	目	科	季節		夏		秋		環境省		神奈川県									
				種和名	学名	任意採集	任意採集	任意採集	任意採集	任意採集	任意採集										
1	クモ綱	ザトウムシ目	カワザトウムシ科	ニセザンザトウムシ属	<i>Pseudogargelia</i> sp.	●	19														
-				カワザトウムシ科	<i>Sclerosomatidae</i>																
2		クモ目	アシナガクモ科	ジョロウグモ	<i>Nephila clavata</i>	●															
3			コモリグモ科	トカリアシナガクモ	<i>Tetragnatha caudicula</i>				●												
4			ナミハグモ科	ユバグモ	<i>Lycaeus</i>				●	1											
5			カニグモ科	Cybaceus属	<i>Cybaceus</i> sp.						5										
6			ハエトリグモ科	ヨコフカニグモ	<i>Xysticus transversomaculatus</i>						1										
7	昆虫綱	トンボ目	イトトンボ科	イトトンボ	<i>Ischnura asiatica</i>	●				●											
8			イトトンボ科	イトトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	●															
9			イトトンボ科	イトトンボ	<i>Pantala flavescens</i>	●															
10		ハナタビ目	キリギリス科	ホシササキ	<i>Conocephalus maculatus</i>	●				●											
11			ハナタビ目	ホシササキ	<i>Acrida cinerea</i>	●				●											
12			ハナタビ目	ホシササキ	<i>Ceduleus informis</i>	●				●											
13			ハナタビ目	ホシササキ	<i>Atractomorpha lata</i>	●															
14			ハナタビ目	ホシササキ	<i>Anisobolus maritima</i>	●															
15		ハサミムシ目	マルムネハサミムシ科	ハサミムシ	<i>Labidura nipponica</i>	●															
16			ハサミムシ目	ハサミムシ	<i>Parasitocidae</i>	●															
17		チヌタムシ目	ヤブチヌタムシ科	チヌタムシ	<i>Phlaeothripidae</i>	●	1														
18		アザミウマ目	クダアザミウマ科	クダアザミウマ	<i>Laodelphax stratiellae</i>	●		1													
19		カメムシ目	ウナクサ科	ウナクサ	<i>Sogatella longifurcata</i>	●				●											
20			ウナクサ科	ウナクサ	<i>Eclyptus fusconervosus</i>	●															
21			ウナクサ科	ウナクサ	<i>Deltocephalus</i>	●															
22			ウナクサ科	ウナクサ	<i>Tingitidae</i>	●															
23			ウナクサ科	ウナクサ	<i>Anthracoceros</i>	●	1														
24			ウナクサ科	ウナクサ	<i>Tagostylus</i> sp.	●	1														
25			ウナクサ科	ウナクサ	<i>Mitridae</i>	●	3														
26			ウナクサ科	ウナクサ	<i>Nysius plebeus</i>	●															
27			ウナクサ科	ウナクサ	<i>Stigmatopora japonica</i>	●															
28			ウナクサ科	ウナクサ	<i>Aelia teberii</i>	●															
29			ウナクサ科	ウナクサ	<i>Eurydema rugosa</i>	●				●											
30			ウナクサ科	ウナクサ	<i>Nysius plebeus</i>	●				●											
31			ウナクサ科	ウナクサ	<i>Microvelia</i> sp.	●	1														
32			ウナクサ科	ウナクサ	<i>Aphididae</i>	●		1	●												
33		コウチュウ目	アブラムシ科	アブラムシ	<i>Ceratomyza aptus</i>	●		2													
34			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Hippodamia varians varians</i>	●					●										
35			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Histeridae</i>	●															
36			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Staphylinidae</i>	●	1		4	●	●										
37			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Scarabaeidae</i>	●			●												
38			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Coccinella septempunctata</i>	●			●												
39			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Gonocaphalum pubens</i>	●	2														
40			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Microgaster pallidipennis</i>	●	10		3												
41			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Phyllodes punctifrons</i>	●				●	1										
42			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Colletes</i>	●															
43			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Laesa sakagami</i>	●					●										
44			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Pristomyrmex purgatus</i>	●		2													
45			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Tetramorium caespitum</i>	●		119			1										
46			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Crematogaster annulata</i>	●															
47			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Stenobothrus ventralis</i>	●															
48			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Isodonta nigella</i>	●															
49			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Andrena</i> sp.	●															
50			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Sphecodes nipponicus</i>	●															
51			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Brachymeria</i>	●															
52			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Eucanthidae</i>	●		2													
53			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Platygastridae</i>	●				●											
54			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Scelionidae</i>	●															
55			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Carapogonidae</i>	●															
56			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Chironomidae</i>	●		5	●	4		1									
57			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Embiidae</i>	●		3													
58			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>	●															
59			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Syrphidae</i>	●															
60			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Drosophilidae</i>	●	1														
61			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Brachydeutera</i> sp.	●				●											
62			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Hecamede</i> sp.	●			4												
63			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Hyadina</i> sp.	●				●											
64			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Parachanna</i>	●															
65			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Scatella</i> sp.	●		8													
66			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Ephyridae</i>	●				●	1	●									
67			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Sepsidae</i>	●				●											
68			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Stomatopoda obscura</i>	●				●											
69			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Oecia costata</i>	●															
70			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Musoidae</i>	●															
71			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Sarcophagidae</i>	●			●												
72			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Cheilosia frigida</i>	●															
73			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Oncophanes</i>	●															
74			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Phoridae</i>	●	1			●											
75			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Chloropidae</i>	●				●											
76			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Ageromyzidae</i>	●															
77			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Sciaridae</i>	●															
78			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Sphaeroceridae</i>	●				●											
79			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Anthomyiidae</i>	●				●											
80			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Scathophagidae</i>	●		10													
81			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Diptera</i>	●		7													
82			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Phanera guttata guttata</i>	●															
83			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Zexeria maha angia</i>	●				●											
84			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Graphium sarpedon nipponum</i>	●															
85			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Papilio xuthus</i>	●															
86			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Colias erate poligraphus</i>	●				●											
87			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Phaenocarpa crucifera</i>	●															
88			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Hymenaea recurvalis</i>	●				●											
89			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Geometridae</i>	●															
90			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Nedelia summitellae</i>	●	17														
91			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Platyphoridae</i>	●															
92			アブラムシ科	アブラムシ	<i>Lepidoptera</i>	●		1	●												
93			アブラムシ科	アブラムシ			-	32	151	-	-	3	-								
94			アブラムシ科	アブラムシ			44	12	4	10	14	0	33	5	4	11	2	0	0	-	-

周辺環境等への影響（生物）

生物環境への影響 （海域生物調査結果）

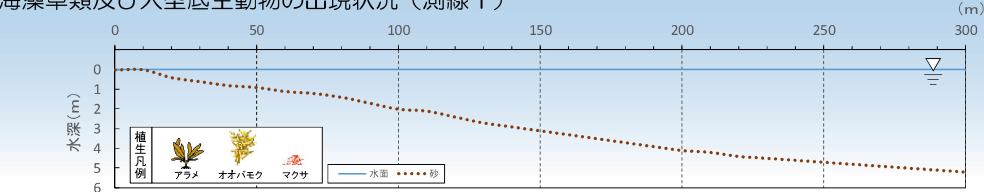
海藻草類の出現種（夏季）

No.	門	綱	目	科	種和名	学名	測線①	測線②	環境省 レッドデータ ランク	神奈川県 レッドデータ ランク		
1	緑色植物	緑藻	シオクサ	シオクサ	トジスモ	<i>Chaetomorpha spiralis</i>		○				
2				シオクサ属	<i>Cladophora</i> sp.		○					
3				ミル	ナンバンハイミル	<i>Codium arabicum</i>		○				
4	不等毛植物	褐藻	アミシグサ	アミシグサ	ヘラヤハズ	<i>Dictyopteris prolifera</i>		○				
5					フクリンアミジ	<i>Dilophus okamurae</i>		○				
6					サナダグサ	<i>Pachydictyon coriaceum</i>		○				
7					アミシグサ科	Dictyotaceae		○				
8				コブ	コブ	アラメ	<i>Eisenia bicyclis</i>		○			
9				ヒバマタ	ホンダワラ	オオバモク	<i>Sargassum ringoldianum</i>		○			
10	紅色植物	紅藻	ウミソウメン	ガラガラ	ヒラガラウ	<i>Galaxaura falcata</i>		○				
11				テングサ	テングサ	マクサ	<i>Gelidium elegans</i>		○			
12					オバクサ	<i>Pterocladia capillacea</i>		○				
13				カクレイ	イワカワ	イワカワ科	Peyssonneliaceae		○			
14					サンゴモ	無節サンゴモ類	Melobesioideae		○			
15						カニノテ属	<i>Amphiroa</i> sp.		○			
16						ビリヒバ	<i>Corallina pilulifera</i>		○			
17						フサカニノテ	<i>Marginisporum aberrans</i>		○			
18						ペトリカニノテ	<i>Marginisporum crassissima</i>		○			
19					スキノリ	ユカリ	ユカリ	<i>Plocamium telfairiae</i>		○		
20						イバラノリ	イバラノリ属	<i>Hypnea</i> sp.		○		
21						スキノリ	カイノリ	<i>Gigartina intermedia</i>		○		
22							スキノリ	<i>Gigartina tenella</i>		○		
23					イギス	イギス	ナガウツゲグサ	<i>Spyridia elongata</i>		○		
種数							0	23	0	0		

大型底生生物の出現種（夏季）

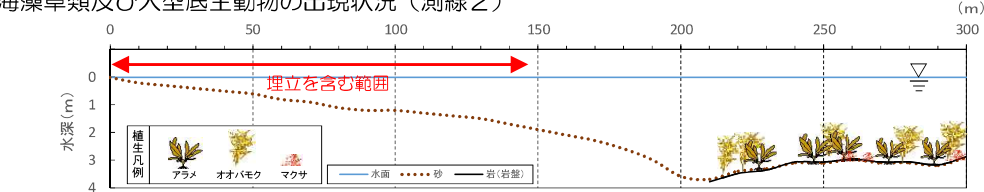
No.	門	綱	目	科	種和名	学名	測線①	測線②	環境省 レッドデータ ランク	神奈川県 レッドデータ ランク		
1	海綿動物	尋常海綿	不明	不明	尋常海綿綱	Demospongiae		○				
2	軟体動物	腹足	吸腔	タマガイ	ツメガイ	<i>Glossaulax didyma</i>		○				
3				盤足	スシヨウガイ	マガキガイ	<i>Strombus luhuanus</i>		○			
4				頭足	マダコ	マダコ	<i>Octopus vulgaris</i>		○			
5	節足動物	軟甲	十脚	不明	ヤドリ類	Anomura	○	○				
6	棘皮動物	ヒトデ	アヒトデ	イトマキヒトデ	イトマキヒトデ	<i>Patiria pectinifera</i>		○				
7				ウニ	ホンウニ	サンショウウニ	サンショウウニ	<i>Temnopleurus toreumaticus</i>		○		
8						ナガウニ	ムラサキウニ	<i>Anthocidaris crassispina</i>		○		
種数							1	8	0	0		

海藻草類及び大型底生動物の出現状況（測線1）



被度階級	5%未満	5～25%未満	25～50%未満	50～75%未満	75%以上
【海藻草類】					
〔出現種なし〕					
【大型底生動物】					
ヤドリ類	Ind.	4 11 2	1	3	1 1 1 1 2 4

海藻草類及び大型底生動物の出現状況（測線2）



被度階級	5%未満	5～25%未満	25～50%未満	50～75%未満	75%以上
海藻草類全体	%				
【海藻草類】					
シオグサ属	%				
カニノテ属	%				
イワノカワ科	%				
オオバモク	%				
フサカニノテ	%				
無節サンゴモ類	%				
オバクサ	%				
ユカリ	%				
ナガウツゲグサ	%				
カイノリ	%				
ヘリトリカニノテ	%				
ナンバンハイミル	%				
アラメ	%				
スキノリ	%				
ヘラヤハズ	%				
サナダグサ	%				
フトジュモ	%				
ヒラガラガラ	%				
イバラノリ属	%				
アミシグサ科	%				
マクサ	%				
ビリヒバ	%				
フクリンアミジ	%				

【大型底生動物】					
ヤドリ類	Ind.	1 1	1 2		
ツメタガイ	Ind.		1		
尋常海綿綱	%				
サンショウウニ	Ind.	1			
イトマキヒトデ	Ind.	1 1			
ムラサキウニ	Ind.	4 1			
マダコ	Ind.			1	
マカキガイ	Ind.				1

注：％は被度、Ind.は個体数を示す。

生物環境への影響 (海域生物調査結果)

No.	門	綱	目	科	種和名	学名	測線①	測線②	環境省 レッドデータ ランク	神奈川県 レッドデータ ランク
1	緑色植物	緑藻	アオサ	アオサ	アオサ属	<i>Ulva</i> sp.		○		
2			シオグサ	シオグサ	ジュズモ属	<i>Chaetomorpha</i> sp.		○		
3					シオグサ属	<i>Cladophora</i> sp.		○		
4			ミル	ハネモ	ハネモ属	<i>Bryopsis</i> sp.		○		
5				ミル	ナンバンハヤミル	<i>Codium arabicum</i>		○		
6	不等毛植物	褐藻	アマシグサ	アマシグサ	トクモシ	<i>Dictyota linearis</i>		○		
7					フクリンアマシ	<i>Dilophus okamurae</i>		○		
8					サナダグサ	<i>Pachydictyon coriaceum</i>		○		
9					アマシグサ科	Dictyotaceae		○		
10			コブ	コブ	アラメ	<i>Eisenia bicyclis</i>		○		
11			ヒバマタ	ホンダウラ	オオハモク	<i>Sargassum ringgoldianum</i>		○		
12			ウミゾウメン	カラガラ	ヒラガラ	<i>Galaxaura falcata</i>		○		
13			テングサ	テングサ	マクサ	<i>Gelidium elegans</i>		○		
14					オバクサ	<i>Pterocladia capillacea</i>		○		
15				カクレイト	イワノカワ	イワノカワ科	Peyssonneliaceae		○	
16			サンゴモ	無節サンゴモ類	Melobesioideae		○			
17				カンテ属	<i>Amphiroa</i> sp.		○			
18				ヒリヒバ	<i>Corallina pilulifera</i>		○			
19				フサカンテ	<i>Marginisporum aberrans</i>		○			
20				ペトリカンテ	<i>Marginisporum crassissima</i>		○			
21			ムカデノリ	ムカデノリ科	Halymeniaceae		○			
22		スキノリ	ナミノハナ	ホノハナミノハナ	<i>Chondrococcus hornemanni</i>		○			
23			ユカリ	ホソユカリ	<i>Plocamium leptophyllum</i>		○			
24				マキユカリ	<i>Plocamium recurvatum</i>		○			
25				ユカリ	<i>Plocamium telfairiae</i>		○			
26			イハラノリ	イハラノリ属	<i>Hypnea</i> sp.		○			
27			スキノリ	カイノリ	<i>Gigartina intermedia</i>		○			
28				スキノリ	<i>Gigartina tenella</i>		○			
29		イキス	イキス	ナガウヅケグサ	<i>Spyridia elongata</i>		○			
30				イキス科	Ceramiceae		○			
31			コハノリ	ハイウスバノリ属	<i>Acrosorium</i> sp.		○			
32			アジマツモ	ソノ属	<i>Laurencia</i> sp.		○			
種数							0	32	0	0

No.	門	綱	目	科	種和名	学名	測線①	測線②	環境省 レッドデータ ランク	神奈川県 レッドデータ ランク
1	海綿動物	尋常海綿	不明	不明	尋常海綿綱	Demospongiae		○		
2	外肛動物	不明	不明	不明	カムシ類	Bryozoa		○		
3	節足動物	軟甲	十脚	不明	ヤドカシ類	Anomura	○	○		
4	棘皮動物	ヒトデ	アカヒトデ		ヒトマキヒトデ	<i>Patiria pectinifera</i>		○		
5		ウニ	ホウウニ		サンショウウニ	<i>Temnopleurus toreumaticus</i>		○		
6					ナガウニ	<i>Anthocidaris crassispina</i>		○		
種数							1	6	0	0

海藻草類及び大型底生動物の出現状況（測線1）

水深 (m)

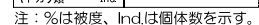
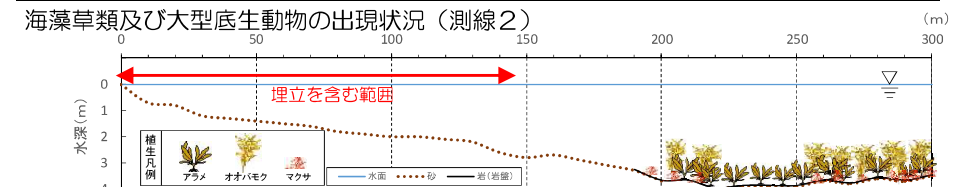
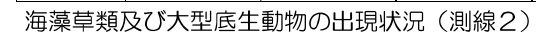
0 1 2 3 4 5

0 50 100 150 200 250 300 (m)

補生凡例

アラメ オオバモク マクサ

— 水底 — 砂



周辺環境等への影響（生物）

生物環境への影響 （海域生物調査結果）

稚魚の出現種（夏季）

							単位: 個体, g		環境省 レッドデー タラंक	神奈川県 レッドデー タラंक	
No.	門	綱	目	科	種和名	学名	夏季				
							個体数	湿重量			
1	脊椎動物	硬骨魚	ニシ	カサチイシ	カサチイシ	<i>Engraulis japonicus</i>	158	133.1			
2				トウゴロウイシ	トウゴロウイシ	<i>Hypoatherina valenciennei</i>	63	59.4			
3				ダツ	ダツ	<i>Strongylura anastomella</i>	1	1.6			
4				スズキ	アジ	コバンアジ	<i>Trachinotus bailloni</i>	1	2.4		
5					ヒラキ	ヒラキ	<i>Leiognathus nuchalis</i>	2	17.4		
6					タイ	クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegeli</i>	1	8.8		
7					ニベ	シログチ	<i>Argyrosomus argentatus</i>	1	2.8		
8				シマイサキ	ゴヒキ	<i>Terapon jarbua</i>	4	14.7			
9				ネスツボ	ネスツボ科	Callionymidae	3	0.9			
10			カレイ	ササウシバタ	ササウシバタ	<i>Heteromyceteris japonica</i>	1	1.0			
11				ウシバタ	クロウシバタ	<i>Paraplagusia japonica</i>	2	2.2			
12			フグ	カワハギ	カワハギ	<i>Stephanolepis cirrifer</i>	1	0.5			
13				フグ	クサフグ	<i>Takifugu niphobles</i>	2	6.9			
種数							13		-	-	
個体数・湿重量合計							240	251.5			

稚魚の出現種（秋季）

							単位:個体, g			
No.	門	綱	目	科	種和名	学名	秋季		環境省 レッドデー タラंक	神奈川県 レッドデー タラंक
							個体数	湿重量		
1	脊椎動物	硬骨魚	サケ	アユ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	1966	19.1		
2			スズキ	アジ	コバンアジ	<i>Trachinotus baillonii</i>	5	27.0		
3				シマイサキ	コヒキ	<i>Terapon jarbua</i>	1	6.4		
4			カレイ	ウシハシタ	クロウシハシタ	<i>Paraplagusia japonica</i>	3	10.4		
5			フグ	フグ	クサフグ	<i>Takifugu niphobles</i>	1	5.8		
6					トラフグ	<i>Takifugu rubripes</i>	2	53.2		
種数							6			
個体数・湿重量合計							1978	121.7	0	0

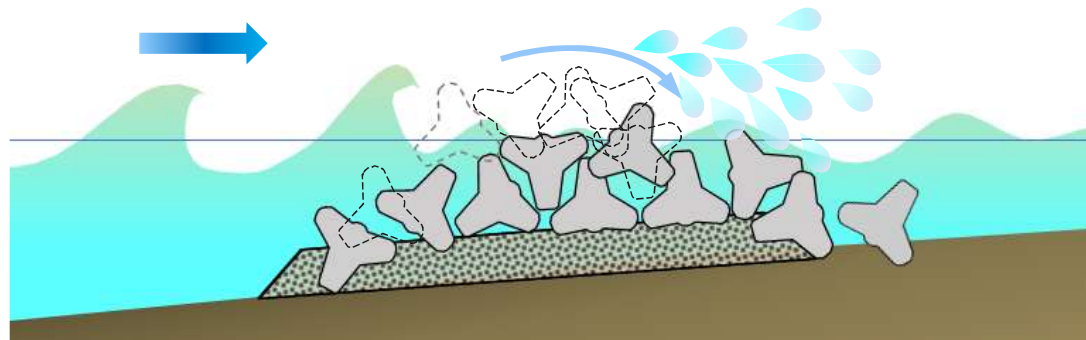
周辺環境等への影響（波浪）

波浪変化等の影響

- ◆ 沈下・散乱している突堤を改良し、ブロックの修復をするため、突堤の背後は波消しの効果があります。
- ◆ 波は沖側から来るため、突堤より沖側の周辺海域への影響はほとんどありません。

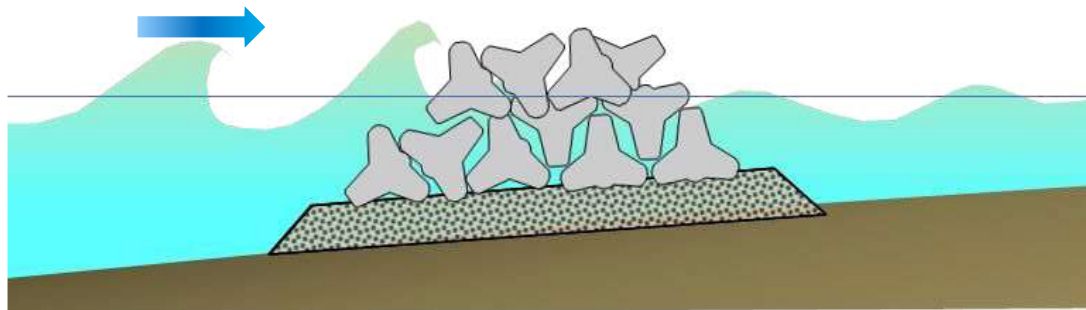
【現況】

ブロックが沈下している
ので波消し効果が小さい



【整備後】

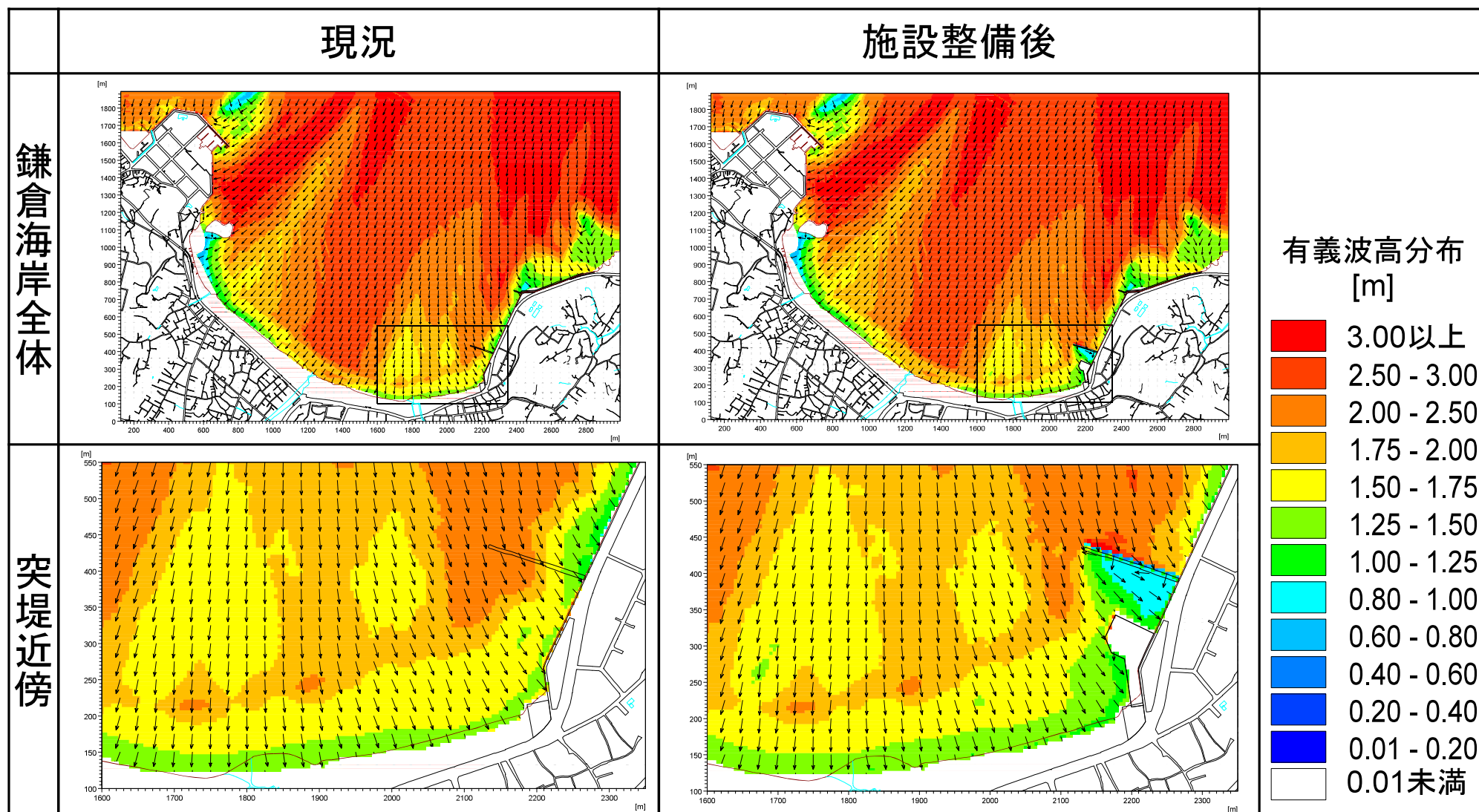
十分な波消し効果があります



周辺環境等への影響（波浪）

波浪変化等の影響（数値計算結果）

- ◆施設を整備した場合の周辺海域への影響を数値計算により検証しました。
- ◆年上位5波(1年間に襲来する波浪の内、高波5波の平均)が来襲した場合の有義波高について、突堤の背後は波浪が低減し、その他海域への影響は見られませんでした。



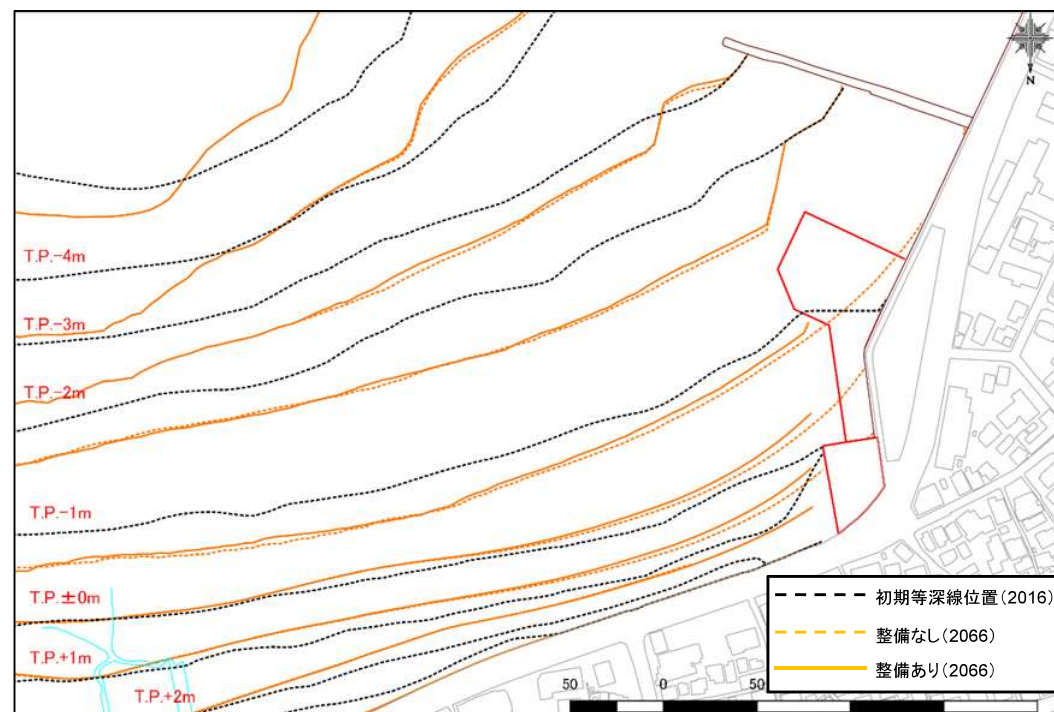
周辺環境等への影響（地形）

地形変化等の影響（施設周辺）

- ◆ 海岸線に構造物を整備すると沿岸方向の砂の移動を遮断するため、構造物周辺には砂がたまりやすくなります。
- ◆ 施設整備を実施した場合、図のように局所的に砂がたまる可能性があります。
- ◆ 砂がたまった場合は、船が出し入れできるように維持管理を行います。



砂の堆積イメージ



整備予定箇所周辺の地形変化シミュレーション結果

周辺環境等への影響（地形）

地形変化等の影響（鎌倉海岸全体）

- ◆ 鎌倉海岸全体でみると、海岸の端部に小規模の施設を設置するものであるため、鎌倉海岸全体への影響はほとんどありません※。
- ◆ 砂がたまるのは局所的であり、施設を整備した場合としない場合で、鎌倉海岸全体では概ね同様の傾向を示すことを確認しました。

※施設整備後50年間で現況の施設と比べて海岸線の位置が1～2m変化する程度

50年後までの等深線変化予測

